

長い間 ご苦労さまでした

時田教育長・多々良病院長が勇退

時田忠藏前市教育長(70)と多々良満寿雄前市立富士中央病院長(69)が

この3月31日で勇退しました。長い間、ご苦労様でした。



時田前教育長は、昭和4年3月静岡師範学校を卒業後、小学校訓導および県教育委員会指導課主事などを歴任同39年4月市立富士中学校長に就任し、同44年3月退職しました。

ついで同46年6月に市教育委員にえられ同年7月市教育長に就任、同51年1月再任、現在に至っています。この間、実に50有余年の長きにわたって子弟教育一筋に生き、また、戦後の教育制度の推進と学校施設の整備改善、教職員の資質向上につとめられました。



多々良前病院長は、昭和11年3月慈恵会医科大学を卒業後、同24年10月、町立富士中央病院の院長として就任以来、今日まで29年にわたって病院の管理責任者として病院の運営

管理および診療に専念してきました。

この間、その豊富な経験と温厚な人柄を買われ、数次にわたる個人開業の好機にめぐまれながらも、その都度一蹴し、地域の公的総合病院として医療器具の充実、改善をはじめ子弟教育などにその半生を捧げてきました。

新しい教育長に

小川清さんが就任



時田前教育長の勇退に伴う後任には、市内鈴川の前市立富士中学校長の小川清(57歳)先生が新しい

教育長に就任しました。小川新教育長は、昭和十六年三月、静岡師範学校を卒業後、小学校教諭、県東部教育事務所次長などを歴任、同五十三年四月市立富士中学校長に就任、この三月十九日の市議会本会議で市教育委員に任命され、このほど開かれた教育委員会で教育長にえられました。

新病院長に

荻原正雄さんが就任



多々良前市立富士中央病院長の後任には、東京慈恵会医科大学の荻原正雄(50歳)先生が四月二日から

就任しました。新病院長は、昭和二十八年三月同大学を卒業後、内科医長、講師などをつとめ、同五十年三月に助教授を委嘱されており、とくに胸部疾患が専門で、日本結核病学会などの評議員もつとめています。なお、医学博士の学位は同三十三年六月に授与されています。